

高齢者を中心とした地域貢献活動団体表彰式・事例発表会

1月30日(金)、鹿児島市のかごしま県民交流センターで「高齢者を中心とした地域貢献活動団体表彰式・事例発表会」を開催したところ、とても盛況で約700人の参加がありました。

この大会は、県の新規事業である「元気高齢者チャレンジ推進事業」の一環として県と共催で行ったもので、県内各地で高齢者が中心になって地域おこしや様々なボランティア活動を行っている団体の状況を収集し、県下7地域から代表として選ばれた団体が表彰されました。続いて7団体それぞれの活動内容の発表がありました。



●受賞団体は次のとおりです。

鹿児島地区	小松帯刀を守る会(日置市)	始良・伊佐地区	かもう女性の会(始良郡蒲生町)
南薩地区	新田ふれあい団地互助会(指宿市)	大隅地区	図書館ボランティア「トトロ」(曾於市)
北薩地区	育英長寿会(薩摩川内市)	熊毛地区	大宇都老人クラブ親和会(熊毛郡南種子町)
		大島地区	城(ぐすく)琴平会(大島郡与論町)

この後、鹿屋市申良町の柳谷(やねだん)自治公民館長の豊重哲郎氏による、基調講演がありました。

「旬の活動で己に感動、社会に貢献」

豊重氏は、平成8年から柳谷自治公民館長を務められ、村おこしの達人として活躍されており、講演の中で「行政に頼らない村づくり」をモットーに、住民の出番をつくる大切さや仕掛けの重要性など熱心に語られました。特に、土着菌センターの建設、緊急警報装置の設置、空家対策に芸術家を呼ぶなど、様々なアイデアあふれる企画の由来からその効果、また、今後の有望な事業計画まで力強く述べられ、参加者は豊重氏の熱い思いに深い感銘を受けておられました。



おもちゃドクター養成講座を開催！

長寿社会推進センターでは、(財)長寿社会開発センターの助成事業として、「おもちゃドクター養成講座」を鹿屋市、鹿児島市、霧島市の3ヶ所で開催しました。

この事業は、子どもたちの大切な宝物である「おもちゃ」の修理活動を通して、子どもたちに「もの」の大切さを伝え、同時にシニア世代の新しい形のボランティア活動として生きがいを持って社会参加を進め、世代間交流や地域コミュニティの再構築を図る目的で実施したものです。



講師は、「日本おもちゃ病院協会」(東京都新宿区)に依頼し、3会場で合計66名の方が受講されました。講座では、おもちゃの診察法や修理法、工具の選び方等の講義を受けた後、簡易電源パックやスピーカーテスターの製作実習を行い、講座修了後実際におもちゃの修理会も開催しました。

今後、養成講座修了生を中心に、この事業を自主活動へと展開していき、地域に根付いた活動につながることを期待されています。

